

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
01	株式会社沖縄美健販売 代表取締役社長 宮国 良和	株式会社沖縄美健販売の SDGs の取組み 3. すべての人に健康と福祉を ・島桑の葉を活用した青汁・茶葉、果実を使ったお酢などの健康志向商品を開発。 ・桑の葉・実を学校給食に提供し、子どもたちの栄養改善と健康意識の向上に貢献。 4. 質の高い教育をみんなに ・島桑や養蚕文化をテーマにした出前授業を実施し、地域資源を活かした食育を推進。 ・体験型学習を通じて、伝統文化や循環型農業の大切さを次世代に伝える。 8. 働きがいも経済成長も ・耕作放棄地を活用した島桑栽培により、地域農業の再生と雇用創出を実現。 ・高齢者が剪定・収穫作業に参加し、生きがい作りと地域活性化に寄与。 11. 住み続けられるまちづくりを ・島桑を浦添市の特産品としてブランド化し、地域の誇りと持続可能なまちづくりを推進。 ・地産地消の促進により、地域経済の循環と自立を支援。 12. つくる責任 つかう責任 ・剪定枝や未使用の枝葉をチップ化し、畑の肥料として再利用する循環型農業を実践。 ・有機栽培への移行を視野に入れ、環境負荷の低減に取り組む。 15. 陸の豊かさを守ろう ・耕作放棄地の再活用により、農地の保全と生物多様性の維持に貢献。 ・地域資源を活かした持続可能な農業モデルを構築。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
02	一般社団法人 クリーンアップ琉球 代表理事 川村 兼徹	私たちは『いつまでも暮らしたい・地球に。』をテーマに活動しています。 ゴミの落ちていない街づくりを主に地域とのネットワークを構築し様々な社会貢献をめざしています。 SDGs の取り組み方針としては下記内容を実施いたします。 1、貧困をなくそう ・いただいた寄付やメンバー費、ボランティア様への呼びかけを通じて、子供食堂への支援をしていきます。 4、質の高い教育をみんなに ・ボランティア活動を通じ、何が本当に必要な活動なのかを教えるのではなく考える場を提供していきます。 11、住み続けられるまちづくり ・自分が暮らす街だからこそ自分達で住みやすくする事を活動を通じ発信していきます。 13、気候変動に具体的な対策を ・車の使用、アイドリング、エアコンの使い方、など本当に必要か、人自身が気候の変動に対応する必要性などを発信していきます。 14、海の豊かさを守ろう ・ビーチクリーンを定期開催し、多くのゴミが海に流れ着くこと理解してもらい、普段の生活の意識向上に繋がる活動を続けていきます。 15、陸の豊かさを守ろう ・街の安全対策をするために地域の学校や企業と連携し取り組んでいきます。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
03	有限会社千代田開発 代表取締役 刈鎌 昌美	当社は「安全で働きやすく、持続可能な社会の現実に向けて、快適職場の提供を目指し業務の継続的改善・効果的システム運用を図る」を基本理念に建設工事及びその他全ての事業活動において、SDGs に積極的に取り組み、リスクアセス・ヒヤリハット・創意工夫・法令順守・健康増進等を強化し、施工現場における働く環境・快適職場等を推進し、より良い環境を未来世代へ引き継ぐため以下のような活動を推進しております。 ゴール 5. ジェンダー平等を実現しよう ・性別や年齢に関係なく、活躍できる職場づくりを進めるため、建設技術者や労働者の育成・技能試験取得推進。 ・働きがいがある現場を提供することで、社員の満足度が向上し、社員の離職を防ぐ。 ゴール 6. 安全な水とトイレを世界中に ・未来への水質維持向上を目指して施工時の水質汚濁の防止および抑制。 ・作業現場における衛生的な快適トイレの設置をし、衛生環境を整えることで作業効率の向上を目指す。 ゴール 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに ●環境保全 ・ISO9001（品質マネジメントシステム）と、ISO14001（環境マネジメントシステム）を取得。 ・産業廃棄物の分別、リサイクルに取り組み社会貢献の向上。 ・建設資材等のリサイクル、廃棄物発生抑制を向上、再生可能エネルギーの活用を通じてCO2排出量の削減。 ゴール 8. 働きがいも経済成長も ●人材育成・働き方 ・うちなー健康経営宣言に登録し、従業員の一人一人が健康を維持するため（年1回）健康診断の実施。 ・技術スキルの向上、建設現場に必要な資格取得費用を会社で負担。 ・年齢にとらわれない雇用の促進、定年後の再雇用の促進。	

SDGs の達成に向けた取組

		ゴール 11. 住み続けられるまちづくりを ●地域社会貢献 ・地元主催のイベント活動に積極的に参加。 ・県、市主催の清掃活動等に参加し周辺環境の美化に努める。 ・災害、防災対策として、各機関、所属団体と災害協定を締結し、災害時には迅速な対応ができ、各所との協力関係の構築。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
04	合同会社ピエノマ 代表社員 米盛勝也	私たちはジェラートを通じて SDGs の実現に貢献しています。地元沖縄の農家と連携し、規格外や余剰となった果物・野菜を原料として活用することで食品ロス削減と地域経済の活性化に取り組んでいます。地産地消を推進し、輸送エネルギー削減と新鮮な商品提供を両立。観光客には沖縄の季節の果物や伝統食材を使ったジェラートで地域文化を発信し、持続可能な未来を目指しています。 8. 働きがいも経済成長も ・地域の若手スタッフや主婦層など、多様な人材が活躍できる柔軟な勤務体制を整えています。 ・イベント出店やキッチンカー販売を通じて地域経済の活性化に貢献しています。 ・沖縄県産の素材を積極的に使用し、生産者との連携を通じて地産地消を推進しています。 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう ・地元農産物の魅力を最大限に引き出す製造技術の研究・改良を行い、地域資源の新たな価値創出に取り組んでいます。 ・製造工程での品質管理を徹底し、衛生面や生産効率の向上に努めています。 ・冷凍物流やオンライン販売など、新しい販売・流通の仕組みを取り入れ、地域産品の販路拡大を図っています。 11. 住み続けられるまちづくりを ・地域イベントやマルシェへ積極的に参加し、地域の交流やにぎわいづくりに貢献しています。 ・プラスチック製品の使用を控え、紙製カップやフタを採用することで、環境への負荷軽減に取り組んでいます。 ・地域の子どもたちへの食育活動やジェラートづくり体験などを通して、地元の魅力を次世代へ伝えたいと思っています。	 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
05	株式会社もとぶ牧場 代表取締役社長 坂口 泰司	SDGs の達成に向けて、もとぶ牧場は地域と共に歩む持続可能な畜産経営を目指しています。 ●経済 もとぶ牧場では、地域資源を活かした「6次産業化」に取り組んでいます。自社で生産したもとぶ牛を活用し、加工、販売までを一貫して行うことで、付加価値を高めるとともに、地域内での雇用創出や経済循環に貢献しています。さらに、食品製造副産物であるビール粕や糖蜜など、これまで廃棄されていた未利用資源を再活用することで、コスト削減と新たな価値創出を実現。県内企業や農家との連携を強化しながら、地域全体の経済活性化を目指しています。 ●社会 食・健康・環境をつなぐ循環型の仕組みを構築し、安心・安全な「もとぶ牛」ブランドを通して、県民の健康的な食生活に貢献しています。地域の農家や企業と協力し、持続可能な畜産と農業のモデルを構築することで、地域コミュニティの強化や若い世代への産業継承を促進。また、県内、県外のイベントや学校との連携を通じて、地産地消や食育活動にも取り組み、地域社会とのつながりを深めています。 ●環境 これまで廃棄されていたビール粕や糖蜜などの未利用資源を独自の発酵技術で再利用し、機能性飼料や有機堆肥を製造。この取り組みにより、廃棄物の削減や牛の飼育における二酸化炭素排出量の抑制に貢献しています。さらに、製造した堆肥を県内農家へ還元し、土壌改良や農作物の品質向上を実現。「牛→飼料→堆肥→農作物→食」という循環のサイクルを地域で完結させ、環境負荷を最小限に抑えた持続可能な畜産、農業を推進しています。	